



公益財団法人

杉浦記念財団

活動報告書

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために



御礼とご挨拶

私たち杉浦記念財団は、2011年9月1日に「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」として発足し、2015年7月1日をもって内閣府より「公益財団法人」の認定を受けました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

まだまだ未熟な財団ではございますが、引き続き皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら地域社会に貢献して参りたいと考えております。

評議員会長 杉浦 広一
理事長 杉浦 昭子



設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的に掲げる薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」としてスギ薬局を育てて参りました。

幸運にも、皆様のご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。

そのスギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、それまでのご支援に報いるため、社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの思いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日には公益認定を受け、名称を「公益財団法人 杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、引き続き地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

団体概要

私たちの
の
使命

『住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために』

皆で生きる、長生きを喜ぶ、地域社会で育む。

誕生から高齢期まで、多様な社会活動の支援ならびに健康を育む人材教育を通じ、地域貢献を目指します。地域共生社会の実現に向けて活動する、個人・団体を支援しています。

役員 (五十音順・敬称略) 2020年3月12日現在

理事・監事

理事長

杉浦 昭子 スギホールディングス株式会社 相談役

副理事長

杉浦 伸哉 株式会社スギ薬局 常務取締役事業本部本部長

理事

秋下 雅弘 東京大学大学院 医学系研究科
生殖・発達・加齢医学専攻 教授
井口 昭久 愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授
名古屋大学 名誉教授
大島 伸一 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長
日本福祉大学 常務理事
高瀬 義昌 医療法人社団 至高会 理事長 たかせクリニック 院長
公益財団法人 日米医学医療交流財団 理事、昭和大学 客員教授
中井 加代子 公益社団法人 日本看護協会 監事
特定非営利活動法人 看護の広場 理事長
鍋島 俊隆 藤田医科大学 大学院医療科学専攻
先進診断システム探索研究部門 客員教授
特定非営利活動法人 医薬品適正使用推進機構 理事長
名古屋大学 名誉教授/ルーマニアアレクサンドル・イワン・クザ大学 名誉教授
野本 慎一 京都大学 名誉教授
一般社団法人 電子連絡ノート協会 理事長
久常 節子 元 国際医療福祉大学大学院 副大学院長
元 公益社団法人 日本看護協会 会長
堀 美智子 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
山村 恵子 藤田医科大学 医療科学部先進診断システム探索部門高度薬学情報管理学 教授

監事

神谷 誠 デロイトトーマツ税理士法人 シニアアドバイザー
平野 晃 平野晃公認会計士事務所
元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

評議員

評議員会長

杉浦 広一 スギホールディングス株式会社 代表取締役会長

評議員

荒井 秀典 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長
上野 桂子 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事
一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長
木村 隆次 公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 副会長
一般社団法人 青森県薬剤師会 会長
(有限会社プロマックス 代表取締役 ハロー薬局 代表)
葛谷 雅文 名古屋大学大学院 医学系研究科 加齢医学講座
地域在宅医療学・老年科学分野 教授
倉田 なおみ 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座
社会薬学部門 客員教授
白澤 政和 国際医療福祉大学大学院 教授
杉浦 克典 株式会社スギ薬局 代表取締役社長
鈴木 匡 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬学分野 教授
高橋 紘士 一般財団法人 高齢者住宅財団 特別顧問
東京通信大学 教授
田中 滋 埼玉県立大学 理事長、慶応義塾大学 名誉教授
辻 哲夫 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
水流 聡子 東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻
品質・医療社会システム工学寄附講座 特任教授
豊田 百合子 大阪保健福祉専門学校 副校長
元公益社団法人 大阪府看護協会 会長
伴 信太郎 愛知医科大学 医学教育センター長 特任教授



(2019年7月現在)

名称 公益財団法人 杉浦記念財団
(英語名: The Sugiura Memorial Foundation)

所在地 〒474-0011
愛知県大府市横根町新江62番地の1

ホームページ <http://sugi-zaidan.jp>

設立 2011年9月1日(2015年7月1日公益認定)

事業

- (1) 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- (2) 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- (3) 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (4) 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (5) 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- (6) その他当該財団の目的を達成するために必要な事業

杉浦賞（杉浦地域医療振興賞）〔第1回～第9回 計40団体〕

いまだかつてない超高齢社会。人々が住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続けるためには、医師、薬剤師、看護師などの医療従事者および介護福祉従事者といったさまざまな職種の方々の連携が、地域医療に欠かせません。

そこで、当財団では、既に多職種協働の取り組みにおいて成果を上げている方を褒賞し、その成果が広く社会に広がることを願い、杉浦賞（杉浦地域医療振興賞）を制定し、個人・団体を支援しています。

当財団は、これまでの9年間で計40団体を褒賞しています。



杉浦賞盾



◎杉浦賞 審査委員（審査委員長を除き五十音順）

役割	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一 氏	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長 日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子 氏	東京大学 名誉教授 一般社団法人 高齢社会共創センター センター長
	柴田 博 氏	桜美林大学 名誉教授 日本応用老年学会 理事長
	辻 哲夫 氏	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
	久常 節子 氏	元 公益社団法人 日本看護協会 会長

(2020年3月現在)

第9回 杉浦賞受賞者 (2020年度)

地域包括ケアと災害医療対策

千葉県野田保健所

視覚障害者などに対する食に関する情報の提供と食育の推進
公益財団法人すこやか食生活協会

ゆるくて楽しい歩行圏コミュニティづくり

富山大学歩行圏コミュニティ研究会

ストーマ保有者が暮らしやすい社会をめざした活動
～“わからない”を笑顔のある生活へ～

特定非営利活動法人

ストーマ・イメージアップ・プロジェクト

あいりんのおっちゃんと共に生きる

あいりん地域総合相談窓口

過去の杉浦賞受賞者(第1回～第4回)

第1回 杉浦賞受賞者(2012年度)

群馬県における地域リハと認知症の地域医療・リハ・ケア連携システムの構築：群馬リハネットとぐんま認知症アカデミーの活動

山口 晴保 氏

ぐんま認知症アカデミー 代表幹事
群馬県地域リハビリテーション協議会 委員長
群馬リハビリテーションネットワーク 副理事長

庄内地域医療連携の会の活動

瀬尾 利加子 氏

庄内地域医療連携の会 事務局長
(所属：鶴岡協立病院 地域医療連携室)

歯科医師・歯科衛生士と在宅医療連携拠点が構築する
医科歯科連携促進

川越 正平 氏／山口 朱見 氏

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

薬剤師の診察前面談から始まる新たな薬局機能の開発
～ワーファリン服用患者のPT-INR管理の情報共有システム～

山村 恵子 氏

愛知学院大学 薬学部 教授

第2回 杉浦賞受賞者(2013年度)

地域包括支援センターを核とした、高齢者見守りネットワーク構築
～おおた高齢者見守りネットワークの活動～

中村 一孝 氏

おおた高齢者見守りネットワーク 代表

澤登 久雄 氏

おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
大田区地域包括支援センター入新井 センター長
社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 医療福祉部 兼 在宅医療部 部長

慢性疾患セルフマネジメントプログラムを通じた
多職種連携の取り組み

伊藤 雅治 氏

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 理事長

新しい地域医療の創出にむかってー21世紀のプライマリ・ヘルス・ケアを礎として考える

本田 徹 氏

浅草病院 医師
特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会 代表理事

第3回 杉浦賞受賞者(2014年度)

若年認知症の人と家族のネットワーク構築に向けて
地域で支援する活動

高見 国生 氏

公益社団法人認知症の人と家族の会 代表理事

地域多職種との地域包括ケアシステム勉強会を積み重ねて

内海 眞 氏

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 病院長

在宅慢性呼吸不全患者に対する訪問看護を中心とした
地域連携による包括的呼吸ケアの展開

大平 峰子 氏

北信ながいき呼吸体操研究会
独立行政法人国立病院機構 東長野病院

第4回 杉浦賞受賞者(2015年度)

地域の特性に応じた認知症初期支援体制構築の支援

粟田 主一 氏

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長

名古屋市医師会の在宅医療・介護連携の取組みについて：

「在宅医療・介護連携支援センター」
「在宅医療・介護支援システム」
「名古屋市在宅医療・介護連携ガイドライン」

真野 寿雄 氏

一般社団法人名古屋市医師会 在宅医療・介護連携担当理事

地域包括ケアの要となる訪問看護の提供基盤を支える取組み
～訪問看護ネットワーク支援システムの構築と運用支援～

佐藤 尚子 氏

公益社団法人香川県看護協会 訪問看護ネットワーク センター長

自分たちの健康は自分たちで守るーライフケアシステム35年の経験から

辻 彼南雄 氏

一般社団法人ライフケアシステム 代表理事
水道橋東口クリニック 院長
高齢者を支える学際的チームアプローチ 推進ネットワーク 理事長
日本在宅ケア学会 副理事長

患者協働の医療の実現に向けて
～医療者・患者がともに学ぶ場を街につくる～

患医ねっとパシエントサロン

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

過去の杉浦賞受賞者 (第5回～第8回)

第5回 杉浦賞受賞者 (2016年度)

オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築

京都地域包括ケア推進機構

佐久農村医療から被災地石巻の地域包括ケアへ
～いのちを大事にする社会を目指して～

長 純一 氏

石巻市立病院開成仮診療 所長
石巻市包括ケアセンター長

ケアマネジャーが孤立しないために、なにより燃え尽きないために、
そしてお互いが学び合い育ち合うために

白木 裕子 氏

株式会社アジケア 取締役社長

専門職として住み慣れた地域で

安心してその人らしく住み続ける支援をする活動を広げる

村田 美穂子 氏

一般社団法人滋賀県介護福祉士会 会長
特定非営利活動法人宅老所心 理事長

すべての人々に有益な健康増進運動の普及・啓発をスローガンに
超高齢社会の救世主となるべく

「メディカルノルディック・ウォーキング」の確立に全力を注ぐ!!

木村 健二 氏

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟

第6回 杉浦賞受賞者 (2017年度)

共生社会の創造と熊本地震支援

小笠原 嘉祐 氏

特定非営利活動法人おーさぁ 理事長
社会福祉法人リデルライトホーム 理事長
特定医療法人社団 ビネル会ビネル記念病院 理事長
熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長

認知症とともに生きる本人が、
ともによりよく生きる社会を創り出すことを目的に活動を展開

日本認知症ワーキンググループ

口腔ケアの国民への普及—「口腔ケアの日」を通じて知ってもらいたいこと—

夏目 長門 氏

愛知学院大学歯学部附属病院 教授 医学博士 歯学博士
日本口腔外科学会 指導医、日本口腔ケア学会 指導医

長年にわたる在宅患者への訪問看護実践・訪問看護を推進する
看護人材育成と訪問看護の普及活動

内田 恵美子 氏

株式会社日本在宅ケア教育研究所 代表取締役

第7回 杉浦賞受賞者 (2018年度)

新宿区における若者自殺うつ予防活動

特定非営利活動法人 Light Ring.

失語症者の地域生活を支援する
～途切れない支援をめざして～

愛知県失語症会話パートナーの会

特定非営利活動法人あなたの声

都市部とへき地診療所の融合モデル—今後の地域包括ケアモデルとして

医療法人ゆうの森 たんぼぼ俵津診療所

超高齢社会に対応できる「在宅訪問管理栄養士」の
人材育成と活動のしくみづくり

公益社団法人愛知県栄養士会

在宅医療・介護委員会

子どもから高齢者まで幅広い世代の食生活を
地域で支援するしくみの開発と普及

平野 覚治 氏

老人給食協会ふきのとう 代表
社会福祉法人ふきのとうの会 理事長
一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事

第8回 杉浦賞受賞者 (2019年度)

がん患者のアピランス (外見) サポート活動

特定非営利活動法人

全国福祉理美容師養成協会 (NPOふくりび)

生活者の想いに寄り添う地域包括ケアの構築
地域包括ケア支援システム『ナラティブブック秋田』

一般社団法人由利本荘医師会

生きづらさを抱える少女・若年女性に対する多角的な支援

一般社団法人若草プロジェクト

東日本大震災被災地における長期メンタルヘルス支援活動

特定非営利活動法人心の架け橋いわて

全世代対象対応型拠点 おおもり語らいの駅 事業

澤登 久雄 氏

社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院
地域ささえあいセンター センター長

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(受賞者の所属・役職は受賞当時)



杉浦助成 (杉浦地域医療振興助成) 第1回～第8回 計120団体

これから多職種協働に取り組む方を助成し、地域医療連携の新しいモデルを実現していただきたいと願い、杉浦助成(杉浦地域医療振興助成)を制定しました。

当財団は、これまでの8年間で計120団体を助成し支援しています。



◎杉浦助成 選考委員 (選考委員長を除き五十音順)

役割	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎 氏	愛知医科大学 医学教育センター センター長 特任教授
委員	網岡 克雄 氏	金城学院大学 薬学部 社会薬学 教授
	雨師 みよ子 氏	一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 副会長 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 監事
	安藤 明夫 氏	中日新聞編集委員(医療担当)
	安東 直紀 氏	安田女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 准教授
	上野 桂子 氏	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事 一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長
	遠藤 英俊 氏	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 長寿医療研修センター長
	大原 弘隆 氏	名古屋市立大学大学院 地域医療教育学 教授 名古屋市病院局 局長
	小林 智晴 氏	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部長
	齋藤 訓子 氏	公益社団法人 日本看護協会 副会長
	澤登 久雄 氏	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長 おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
	塩川 満 氏	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 薬剤部長
	白澤 政和 氏	国際医療福祉大学大学院 教授
	高瀬 義昌 氏	医療法人社団 至高会 理事長 たかせクリニック 院長 公益財団法人 日米医学医療交流財団 理事、昭和大学 客員教授
	田中 雅子 氏	社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
	平井 みどり 氏	兵庫県赤十字血液センター長
平野 隆之 氏	日本福祉大学 社会福祉学部 教授	
山中 崇 氏	東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任准教授	

(2020年3月現在)



第8回 杉浦助成対象者 (2019年度)

研究分野9件



気管切開児の退院移行支援・地域連携の推進
—医療的ケア技術修得のためのモデル教材の開発と活用—

渡邊 理恵 氏

久留米大学 医学部看護学科 講師

介護福祉士の資格を有する介護支援専門員に有用な退院時看護マリー

石川 和美 氏

南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 看護師

医療的ケア児が通う地域の保育園・学校等への地域看護連携による
支援体制整備

亀井 智泉 氏

信州大学 医学部 新生児学・療育学講座 特任助教

ICTを用いた施設入所高齢者に対する投薬管理と活動支援の研究

山下 和彦 氏

医療法人社団至高会 たかせクリニック 地域医療研究部 部長

過疎地域での地域包括ケア実践に
外国人専門職の参画に関する相互交流による探索的研究

成田 有吾 氏

三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授

高齢心不全患者のフレイル進行抑制を目指した多職種連携による
地域包括ケアシステムの研究開発

上田 和孝 氏

東京大学 大学院医学系研究科 コピキタス予防医学講座 特任助教

口腔機能低下症の改善によるフレイル予防と健康寿命延伸への取り組み
—高齢化率40%の鹿児島県垂水市における介入型大規模コホート研究—

中村 麻弥 氏

鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科 医員

咀嚼を起点として健康寿命延伸に寄与する

井上 誠 氏

新潟大学 大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

地域連携に向けた在宅慢性心不全患者の疾病管理と予後に関する
後ろ向きコホート研究

東田 雪絵 氏

名古屋大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程2年

医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター 看護部

活動分野13件



地方都市における高齢者と障がい者の就労を支える
多職種連携ネットワーク「高齢者と障がい者の就労を支える会」の構築

北上 守俊 氏

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教

岡山県ストーマ保有者災害対策の会による
ストーマ保有者支援ネットワークの拡充を目指した活動

寺石 文則 氏

岡山大学病院 消化管外科 講師

まちの介護予防生活デザイン室の開設と運営：
多職種と地域住民の協業で地域資源をとことん活かす！

山口 佳小里 氏

国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科 講師 (作業療法士)

都市型介護モデル開発に向けた地域連携体制の構築

菊谷 則行 氏

任意団体「松戸市の地域活動を推進する会」代表

認知症患者の在宅支援に向けた院内ディケアの有用性の検討に関する研究

瀧本 まり子 氏

東京医療保健大学 看護学部 看護学科 認知症看護認定看護師

村田 美保 氏

独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院 認知症看護認定看護師

失語症カフェの活動—地域と共に創るコミュニケーションのユニバーサルデザイン—

谷口 明 氏

いび川農業協同組合 デイサービスセンター清流の里 言語聴覚士

立木 一美 氏

岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター損斐厚生病院 言語聴覚士

地域医療における医療資源・交通インフラ適正配分に関する
住民意思の解析

奥 健志 氏

北海道大学病院 内科II 講師

救急医療の現場体験から
住民とともにACP (アドバンス・ケア・プランニング) を考える事業

内田 信之 氏

原町赤十字病院 副院長兼第1外科部長

ポリファーマシー対策に資するベンゾジアゼピン系薬剤の
減量・中止方法の確立

井上 真一郎 氏

岡山大学病院 精神科神経科 助教

市民向けアドバンスケアプランニング普及啓発プログラム

大河内 章三 氏

認知症に優しいまちづくり実行委員会 代表

「認知症カフェ」の『認知症当事者の集い』

横道 正克 氏

一般社団法人久留米健康くらぶ 理事長

地域医療の向上につながる多職種の人材育成と患者教育
～心不全患者に求められる「支える医療」の構築に向けて～

志賀 悠平 氏

福岡大学病院 循環器内科 講師

北九州緩和ケアネットワーク

矢津 剛 氏

医療法人矢津内科消化器科クリニック 院長

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)



第7回 杉浦助成対象者 (2018年度)

研究分野10件



高齢者の低栄養における腸内細菌叢についての検討

井上 里加子 氏

岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科

良質な地域包括ケア体制構築のための質的および量的研究

田上 佑輔 氏

医療法人社団やまと やまと在宅診療所 登米 院長

薬剤師・薬学部生を中心とした認知症スクリーニング・ゲームの開発と実践

松田 幸久 氏

福山市立大学 都市経営学部 准教授

認知症患者の薬の適正使用に関する調査研究
～医療情報データベースと実地専門診療施設間の比較検討～

泉澤 恵 氏

日本大学 薬学部

栄養スマート介護実現にむけた
人工知能・IoTを活用した介護記録支援について

富樫 敦 氏

公立大学法人宮城大学 事業構想学群 価値創造デザイン学類 教授

過疎地域における地域包括ケアシステムサポートのための
多職種連携生涯学習モデルの開発

高村 昭輝 氏

金沢医科大学 医学教育学講座 / 地域医療学講座 講師

在宅で医療的ケアが必要な障がい児の養育者を支える
地域包括ケアモデルの構築

宮崎 つた子 氏

公立大学法人三重県立看護大学 小児看護学 教授、「e-ケアネットよっかいち」代表

ポリファーマシーを地域で考える～高齢者薬物療法適正化チームによる地域との連携～

溝神 文博 氏

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部

離島における終末期事前意思の形成のための
多職種連携に関する質的および量的研究

友田 燁夫 氏

医療法人陽気会 網小医院 院長

地域包括ケアにおける在宅・外来高齢者の医薬品適正使用の推進に
向けた薬学的管理業務の質評価指標の開発運用に関する実証研究

串田 一樹 氏

昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座 特任教授

活動分野9件



ドライブレコーダーを活用した後期高齢ドライバーに対する
地域連携型安全運転教育活動

福澤 恵 氏

茨城県立医療大学 大学院保健医療科学研究科

福島県川内村における多職種連携による摂食嚥下ケア支援事業

小山 善哉 氏

長崎市見通丸医歯 歯科医師

知多半島地域におけるACPの推進

保里 恵一 氏

愛知県厚生農業協同組合連合会
知多厚生病院 地域医療福祉連携部長 附属篠島診療所長

地域丸ごと健康維持・増進を図る事業

水内 義明 氏

NPO法人 健康サロン 代表理事

集学的チームによるフレイル予防活動
～ Fun Study in shopping mall～

永井 徹 氏

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科

市民と専門職が繋がる仕組みづくり～さかいお節介士ネットワーク～

柴本 美佐代 氏

一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事

在宅喘息患者の吸入ステロイド薬の適正使用に対応する
連携に関する活動

西村 善博 氏

神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 特命教授 / 副院長

生涯歩き続けるための社会づくり～足育研究会活動報告～

高山 かおる 氏

一般社団法人足育研究会 代表理事

由利本荘・にかほ、町おこしからはじまる地域包括ケア!

谷合 憲明 氏

特定非営利活動法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会 理事長

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

第6回 杉浦助成対象者 (2017年度)

研究分野10件



精神障がい者の地域生活を支えるための
多機関連携ネットワークのあり方に関する研究
～精神医療の標準化と身体科・精神科・介護スタッフの連携～

下村 裕見子氏

北里大学 医学部 精神科学

地域に根差したフットヘルスプロジェクトによる
高齢者の足トラブル実態調査と多職種連携の構築

菊池 守氏

下北沢病院 病院長

生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親の育児ストレスとコーピング特性

瀧 愛美氏

三重県立看護大学 大学院看護学研究科 生涯看護学分野 小児看護領域 大学院生

高齢者の安全運転支援を目的とした多施設共同による
運転支援プログラムの構築

岩瀬 弘明氏

京都橋大学 健康科学部 理学療法学科

多職種連携による認知症ケアを高度化する「見立て知」の
実践的共学・共創システムの開発

石川 翔吾氏

静岡大学 情報学部

在宅医療・地域包括ケアにおけるサルコペニア予防プログラムによる
夜間頻尿を指標とした生活習慣病改善システムの確立

宮里 実氏

琉球大学 大学院医学研究科 医科学専攻 腎泌尿器外科学講座

地域ぐるみでフレイルを先送りする大都市モデルの構築：
地域介入研究

清野 諭氏

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員

ICTを活用した生活支援サービスマッチングシステムの開発とケアプ
ランへの応用：互助で表出したニーズを共助へつなぐシステムの開発

野中 久美子氏

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム

おだやかな看取りを明日に活かすみち

—地域包括ケアシステムの医学的深化をめざす病理解剖の試み—

融 衆太氏

新渡戸記念中野総合病院 神経内科部長

企業における就労介護者の働きやすい環境への
有効な実践の提案に関する研究

横山 和仁氏

順天堂大学 医学部 衛生学講座 教授

活動分野10件



教育委員会、小学校校長、養護教諭、担任教諭と連携した、学校薬剤師と
薬学実務実習生による小学校での保護者参加型「くすり教室」開催促進活動

安部 恵氏

一般社団法人松戸市薬剤師会 理事 日本大学薬学部薬剤師教育センター 准教授

医療の伝え方、普及啓発のあり方、伝えてみよう

阿真 京子氏

一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表

都市型集合住宅における孤独死予防活動の基盤づくり

嶋澤 順子氏

東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 地域看護学

医療専門職によるひきこもり支援団体との萌芽的協働の取り組み

児嶋 亮氏

一般社団法人京都府作業療法士会 精神科分野勉強会

ひきこもり支援ワーキンググループ 代表

合言葉は「豊橋市民の足を守ろう！」
～小さなサークルでもここまで出来る～

北 和子氏

とよしネットワーク
成田記念病院 透析室 看護師

医療的ケアを必要とする

重度重複障害児の地域生活を支援する多職種ネットワーク活動

宮崎 つた子氏

公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター センター長 小児看護学 教授

門前調剤薬局薬剤師が中心となって実践する

コンコーダンスと地域多職種連携

神植 達也氏

アイン薬局浦和店 薬剤師

「なんくるかふえ&キッチン」の実践

～難病患者と家族を地域で支える～

柴田 弘子氏

難病支援研究会 代表、産業医科大学 産業保健学部 教授

多職種チームで再骨折予防一歩手帳を用いて地域へ広げよう

金子 真理子氏

東名古屋病院 整形外科 (チームだるま)

100年後も続く島づくり—限界島(集落)への挑戦—

桑原 直行氏

対馬市いづはら診療所

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)



過去の杉浦助成対象者(第1回～第5回)

第1回 杉浦助成対象者(2012年度)

数井 裕光 氏 大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学教室 講師
高瀬 佳苗 氏 福島県立医科大学 看護学部 准教授
五十嵐 中 氏 東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任助教
富樫 敦 氏 公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授

今津 嘉宏 氏 港区在宅緩和ケア研究会 会長
番匠 千佳子 氏 聖隷浜松病院 看護部
立石 容子 氏 大阪府訪問看護ステーション協議会 理事

第2回 杉浦助成対象者(2013年度)

平川 仁尚 氏 名古屋大学大学院医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター 病院助教
富樫 敦 氏 公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授
小嶋 佳代子 氏 西尾市市民病院 看護部 地域医療連携室 室長
阿部 泰之 氏 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副部長
平林 久幸 氏 医療法人ライフサポート わたらせりバーサイドクリニック 理事長
平原 佐斗司 氏 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 副理事長 在宅サポートセンター長

成田 有吾 氏 三重大学 医学部 看護学科 教授
阪野 静 氏 特定非営利活動法人がん患者サポート研究所「きぼうの虹」保健師
川嶋 みどり 氏 一般社団法人日本で・あーて、TE・ARTE、推進協会
野崎 園子 氏 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 大学院医療科学研究科 教授
倉賀野 穰 氏 株式会社モバイルカザス 代表取締役
金子 康彦 氏 独立行政法人国立長寿医療研究センター 栄養管理部 栄養管理室長

第3回 杉浦助成対象者(2014年度)

井階 友貴 氏 福井大学 医学部 地域プライマリケア講座 講師
宮田 康好 氏 長崎大学病院 泌尿器科 腎移植外科 准教授
小野 理恵 氏 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
清家 理 氏 京都大学こころの未来研究センター 上廣こころ学研究部門 助教
任 和子 氏 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授
野中久美子 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム
高見 清美 氏 学校法人大阪滋慶学園 大阪保健福祉専門学校

成田 光江 氏 国際医療福祉大学
内田 信之 氏 特定非営利活動法人あがつま医療アカデミー 理事長 原町赤十字病院 副院長
松浦 尊磨 氏 多可赤十字病院 院長
安井 浩樹 氏 名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 准教授
石川 朗 氏 神戸大学 大学院保健学研究科
石井 麻有子 氏 千葉大学環境健康フィールド科学センター

第4回 杉浦助成対象者(2015年度)

荒井 國三 氏 金沢大学 医薬保健研究域薬学系 教授
西川 満則 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 地域医療連携室長 緩和ケア診療部 EOLケアチーム 医師
中村 一孝 氏 おおた高齢者見守りネットワーク 代表
鈴木 恵子 氏 ボランティアグループ すずの会 代表
野村 秀樹 氏 医療法人あいち診療会 あいち診療所野並
松田 幸久 氏 金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター 精神神経科学 特定職員(ポストドクター)
荒井 秀典 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副病院長

大久保 健作 氏 社会医療法人社団 大久保病院 理事長
増田 昌人 氏 琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 診療教授
渡邊 浩一郎 氏 大分県厚生農業協同組合連合会 鶴見病院 腫瘍内科部長
田中 貴子 氏 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学・作業療法学講座 助教
湯本 哲郎 氏 星薬科大学薬学教育研究センター 薬剤師職能開発研究部門 准教授
古屋 聡 氏 山梨市立牧丘病院
山下 和彦 氏 東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科 教授

第5回 杉浦助成対象者(2016年度)

齊藤 正樹 氏 札幌医科大学アドミッションセンター 講師(兼)神経内科 脳神経外科
大澤 匡弘 氏 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野
久保田 洋子 氏 日本薬科大学 教授
平井 みどり 氏 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長
山田 清文 氏 名古屋大学医学部附属病院 教授・薬剤部長
安部 陽子 氏 日本赤十字看護大学 准教授
朝田 隆 氏 東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授

太田 亜里美 氏 新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授
石丸 美奈 氏 千葉大学 大学院看護学研究科 准教授
赤津 裕康 氏 名古屋市立大学 大学院医学研究科 地域医療教育学 特任教授
井上 真一郎 氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教
柴田 龍宏 氏 久留米大学 医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 助教
西尾 美登里 氏 福岡大学 医学部 看護学科 助手 看護学博士

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)



研究会

1 都市型の 看護介護医療等連携研究会 〔2012年～2019年〕 計57回開催

研究会 の 趣旨

都市に住む高齢者が、今までの地域で住み続けることを前提として支援するための多職種協働のあるべき姿について、研究会の成果報告を作成します。急激な高齢化に対応する、安心して生活できる普遍的な都市（東名阪）モデルの処方せん作成を目指します。（都市の地域包括ケアシステムを考える）



第1期	あるべき姿の議論 ～課題と問題点を中心に～	〔座長〕 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長 大島 伸一 氏 〔期間〕 2012年4月～2015年6月（33回開催）
第2期	認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す	〔座長〕 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 〔期間〕 2015年8月～2017年10月（13回開催）
第3期	常に進化し続ける 地域包括ケアシステムの概念と実態	〔座長〕 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 〔期間〕 2018年1月～2019年3月（7回開催）
第4期	地域包括ケアシステムの深化 ～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～	〔座長〕 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 〔期間〕 2019年5月～現在（4回開催）

◎『都市型の看護介護医療等連携研究会講演録』を制作
（第1期～第3期をvol.1～vol.5までに収録）



2 地域包括ケアにおける 医薬品適正使用協働研究会 〔2014年～2019年〕 計31回開催

研究会 の 趣旨

地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めます。特に高齢者の多剤服用の適正化に焦点を当て、実施体制の確立を目指します。

〔座長〕 東京大学大学院 医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻 教授
秋下 雅弘 氏



3 愛知県地域再生・まちづくり研究会 [2015年～2019年 計48回開催]

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 大島 伸一 名誉総長を座長として、「孤立死しない社会を目指す」「高齢社会に合った健康の概念を考え直す」「高齢者こそ、これからの社会の資源と考える」「世代間の協力、暮らしの視点、専門家との連携を重視する」の4点を基本に、自律的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追求しています。また、その成果を広く地域の皆様に発信するために、

「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」を2016年より毎年開催しています。

現在は、「これから生まれてくる人の為に2060年をどうデザインするか」をテーマとし、若手世代(当事者になる世代)の皆様と「プラットフォーム」の策定のための課題を洗い出したうえで、それを解決する方法を検討しています。

●過去に開催されたシンポジウム

2016年 開催	第1回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —未来の答えがここにある!—	愛知	日時：2016年5月20日(金)13時～17時 場所：ウйлあいち ウイルホール 基調講演：増田 寛也 氏(日本創成会議 座長) 参加者：640名
2017年 開催	第2回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —真の高齢問題は40年後にくる—	愛知	日時：2017年9月22日(金)13時～16時 場所：ウインクあいち 2階大ホール 基調講演：石破 茂 氏(衆議院議員) 参加者：880名
2018年 開催	第3回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —高齢社会を生き抜く秘訣—	愛知	日時：2018年9月21日(金)14時～17時 場所：ウインクあいち 2階大ホール 基調講演：中村 秀一 氏(一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム 理事長) 参加者：800名
2019年 開催	第4回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 未来の生き方改革～2040年・2060年に向けて～	愛知	日時：2019年9月20日(金)18時20分～20時30分 場所：ウインクあいち 2階大ホール 参加者：830名



4 健康寿命延伸と介護予防を考える会 [2016年～2019年 計16回開催]

超高齢社会における最大の課題は、健康寿命を延伸することで獲得された長寿を楽しむ期間を長くすることであり、要医療・要介護の期間を短くし、個人にあってはQOLを高め、社会的な視点からはそれらの費用を削減することです。

2013年に策定された第2次健康日本21では、「健康寿命の延伸」を最重要課題の一つに位置づけ、高齢期における健康増進に関する様々な取り組みを挙げるほか、要介護状態を予防するための様々な施策を実行に移しています。

そこで、当財団では「健康寿命延伸と介護予防を考える会」を発足させ、今後の我が国での健康寿命の延伸の具体的なあり方を追求しています。



趣旨

1. 介護予防を必要とする状態にかかわる概念や指標の整理
2. 介護予防施策における予防効果のエビデンスの確立と普及
3. 健康寿命延伸・介護予防の具体的対策における標準プロトコルの提言

[座長] 桜美林大学 老年学総合研究所 所長・大学院教授 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
鈴木 隆雄 氏

健康増進セミナー 〔2013年～2019年 計60回開催・のべ3万人以上参加〕

スギ薬局グループCSR室と協力

地域医療の振興には、幅広い方々にその必要性を知っていただくことが不可欠です。本セミナーは、ご高齢者やそのご家族などの地域の皆様に最近の医療や病気の予防について理解していただき、病気の早期発見・早期治療や介護予防・認知症予防の必要性をより身近に感じていただくことを目的としています。各セミナーでは、地域の最前線で活躍している医師や各県の国立・公立大学病院の先生方にわかりやすく講演をしていただきます。

また、会場では、体脂肪・筋肉量の測定会をはじめ、薬剤師・管理栄養士による健康維持のためのアドバイスや、ビューティアドバイザーによる、おでかけメイク体験も実施しています。



アサヒグループ食品株式会社、アサヒフードアンドヘルスケア株式会社、株式会社浅田飴、味の素株式会社、イチジク製薬株式会社、エステー株式会社、大塚製薬株式会社、花王カスタマーマーケティング株式会社、カゴメ株式会社、キリンビールマーケティング株式会社、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社、コーセー化粧品販売(株)、小林製薬株式会社、興和新薬株式会社、佐藤製薬株式会社、参天製薬株式会社、サントリー酒類株式会社、資生堂ジャパン株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社コンシューマーカンパニー、スギ薬局グループ、第一三共ヘルスケア株式会社、ダイドードリンコ株式会社、大日本除虫菊株式会社、大鵬薬品工業株式会社、武田薬品工業株式会社、株式会社ツムラ、日本製紙クレシア株式会社、株式会社ネイチャーラボ、久光製薬株式会社、P&Gジャパン株式会社、フマキラー株式会社、持田ヘルスケア株式会社、株式会社明治、森永乳業株式会社山本漢方製薬株式会社、株式会社ヤクルト本社、ユニ・チャーム株式会社、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、養命酒製造株式会社、ライオン株式会社、ロッテ商事株式会社、わかもと製薬株式会社、他（企業名五十音順）

2019年度 開催実績

場所	開催日	テーマ／講師	参加人数	
東京(江東区)	1月12日(土)	『在宅医療って?』 ～療養生活と終活を一緒に考える～ 島田 潔 氏 板橋区役所前診療所 院長	250名	
大阪(大阪市)	2月 3日(日)	日本人のための病気にならない食事術 石黒 伸 氏 医療法人アクア アクアメディカルクリニック 理事長	620名	
兵庫(神戸市)	4月27日(土)	地域で人生を最後まで過ごすには 山口 高秀 氏 医療法人おひさま会 理事長 やまぐちクリニック 院長	550名	
埼玉(さいたま市)	7月14日(日)	住み慣れた我が家・地域で 自分らしく暮らし続けるための在宅医療 矢澤 聰 氏 医療法人慶聰会 矢澤クリニック 理事長	545名	
京都(京都市)	9月23日(月・祝)	善くいきいきるために ～在宅緩和ケアって何?～ 渡辺 剛 氏 渡辺緩和ケア・在宅クリニック 院長	566名	

(講師の所属・役職は講演当時)



2018年度 開催実績

場所	開催日	テーマ／講師	参加人数	
東京(大田区)	1月 8日(月・祝)	みんなで目指そうピンピンころり ～住み慣れた地域でいつまでも～ 荒井 好範 氏 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 理事長	308名	
大阪(大阪市)	2月10日(土)	それぞれの生き方と逝き方 田村 学 氏 医療法人学縁会理事長 大阪大学医学部臨床教授	450名	
兵庫(神戸市)	4月 7日(土)	家での平穏死を阻む3つの壁 小坂 文昭 氏 こさか家庭医療クリニック 院長 日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医	330名	
愛知(名古屋市)	5月13日(日)	気ままにあなたらしく晩年期を過ごすには 木股 貴哉 氏 医療法人貴友会 あおい在宅診療所 院長	460名	
三重(津市)	6月24日(日)	住み慣れた地域で在宅看取り 野呂 純一 氏 松阪地区医師会 前会長	362名	
埼玉(さいたま市)	7月16日(月・祝)	在宅医療のできること 間嶋 崇 氏 医療法人元気会 わかさクリニック 理事長・院長	370名	
京都(京都市)	9月24日(月・祝)	暮らしを支える在宅医療 ～とある町医者のおせっかい日誌～ 渡辺 康介 氏 医療法人社団都会 理事長	370名	
岐阜(岐阜市)	10月20日(土)	介護の不安が減る在宅医療の使い方 市橋 亮一 氏 医療法人かがやき 総合在宅クリニック 理事長	450名	

(講師の所属・役職は講演当時)



2019年度体験ブースの様子



2018年度ホームページ掲載告知バナー



過去の健康増進セミナー開催実績 (2013年～2017年)

開催地	開催日	参加人数
2013年度		
兵庫(神戸市)	4月 6日(土)	480名
三重(津市)	5月25日(土)	400名
愛知(名古屋市)	6月16日(日)	800名
京都(京都市)	7月15日(月・祝)	500名
埼玉(さいたま市)	9月 8日(日)	500名
岐阜(大垣市)	10月 5日(土)	460名
滋賀(大津市)	11月 2日(土)	450名
2014年度		
東京(大田区)	1月18日(土)	400名
大阪(大阪市)	2月22日(土)	650名
群馬(前橋市)	3月 9日(日)	650名
兵庫(尼崎市)	4月19日(土)	650名
三重(四日市市)	5月25日(日)	600名
愛知(名古屋市)	6月15日(日)	800名
京都(京都市)	7月19日(土)	500名
埼玉(さいたま市)	9月20日(土)	500名
岐阜(岐阜市)	10月26日(日)	600名
神奈川(横浜市)	11月 1日(土)	500名
2015年度		
東京(文京区)	1月10日(土)	673名
大阪(大阪市)	2月14日(土)	936名
群馬(高崎市)	3月14日(土)	466名
兵庫(神戸市)	4月18日(土)	728名
三重(四日市市)	5月16日(土)	771名
愛知(名古屋市)	6月27日(土)	1,225名

開催地	開催日	参加人数
2015年度		
埼玉(さいたま市)	7月 5日(日)	663名
京都(京都市)	9月 6日(日)	647名
岐阜(岐阜市)	10月17日(土)	792名
神奈川(横浜市)	11月 7日(土)	200名
2016年度		
東京(文京区)	1月30日(土)	310名
大阪(大阪市)	2月20日(土)	450名
群馬(高崎市)	3月19日(土)	240名
兵庫(尼崎市)	4月16日(土)	400名
三重(四日市市)	5月21日(土)	490名
愛知(名古屋市)	6月 5日(日)	700名
埼玉(さいたま市)	7月 2日(土)	330名
京都(京都市)	9月 4日(日)	440名
岐阜(岐阜市)	10月15日(土)	400名
愛知(豊橋市)	11月 6日(日)	330名
2017年度		
東京(文京区)	1月28日(土)	525名
大阪(大阪市)	2月18日(土)	718名
群馬(高崎市)	3月20日(月・祝)	482名
兵庫(神戸市)	4月15日(土)	381名
三重(津市)	5月13日(土)	658名
愛知(名古屋市)	6月17日(土)	596名
埼玉(川越市)	7月22日(土)	466名
京都(京都市)	9月30日(土)	587名
岐阜(岐阜市)	10月28日(土)	735名



2019年度健康増進セミナー健康相談の様子

ご参加いただいた皆様の声

- これからの超高齢社会に必要なことばかり。無料で体験や勉強をさせて頂き、ありがとうございました。これからも続けて下さい。(50代女性)
- 今回が2回目の参加です。母と一緒に参加しましたが、今回も大満足でした。スタッフの方もみなさん親切で、講演会も勉強になりました。次回も参加したいです。(40代女性)
- 妻に誘われて参加しました。健康には気を付けているつもりですが、身体を数値でみる事が出来て、良かったです。講演会も分かり易くて良かったです。充実した1日になりました。(70代男性)
- 体験ブースが良かった。なかなかこんな機会はない。自分の思っていた数値と測定値が違ってショックだった。間の時間のDVD体操も、とても参考になった。こつこつ努力します。(70代女性)
- スギさんの企業活力を活用した今回のイベントは、とてもためになり、面白かった。社会福祉士として活かしていきます。(40代男性)

高齢者とくすりのフォーラム 〔2019年9月29日(日)開催〕 450名参加

～くすりとの正しい付き合い方をわかりやすくお話します～

多くの薬を服用することで副作用や飲み間違い、残薬などの薬に関する問題が起きる状態(ポリファーマシー)を中心に薬、健康食品、サプリメント等の適正使用への理解を深める講演会を開催いたしました。

主催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県薬剤師会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、公益社団法人愛知県看護協会



講演 1

健康長寿のための正しいお薬の飲み方を考える
荒井 秀典 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長



講演 2

ポリファーマシーって知っていますか？
～高齢者が気をつけたい多すぎるくすりと副作用～
溝神 文博 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部



認知症医療介護推進フォーラム

〔2014年～2019年
計6回開催・1千名以上の参加〕

認知症医療介護の動向を踏まえた多職種連携フォーラム（認知症予防・治療の知識や、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等）を計6回開催しています。

主催：国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議

共催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会



認知症医療介護推進フォーラム開催実績

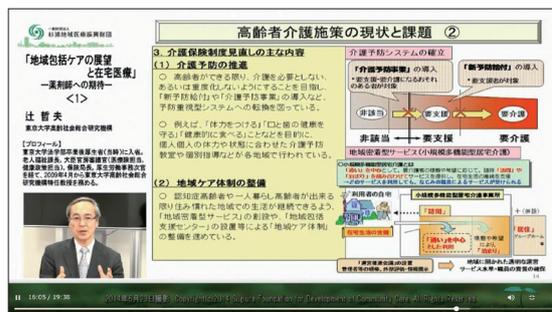
場所	開催日	タイトル
愛知（名古屋市）	2014年2月23日（日）	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 1
東京（千代田区）	2015年2月22日（日）	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 2
京都（京都市）	2016年2月21日（日）	時機に対応した認知症医療・介護への取り組み
愛知（名古屋市）	2017年2月19日（日）	認知症の人と社会のかかわり
東京（文京区）	2018年2月18日（日）	意欲をもって地域で暮らすために
大阪（大阪市）	2019年2月17日（日）	これからの認知症施策～本人、家族にとって、本当に必要なもの～

インターネット研修 〔2013年～2019年 全128講座・のべ薬剤師4千人以上受講〕

薬剤師の方が地域包括ケアを分かりやすく学べ、その中で必要な知識、働き方、将来求められる役割まで学べるインターネット研修システムです。

また、当インターネット研修は、日本薬剤師研修センターの「集合研修」に設定されており、薬剤師の方がいつでも受講できる仕組みになっています。

●詳細はホームページをご確認ください。スマートフォンでも視聴可能です。
http://sugi-zaidan.jp/iseminar_new



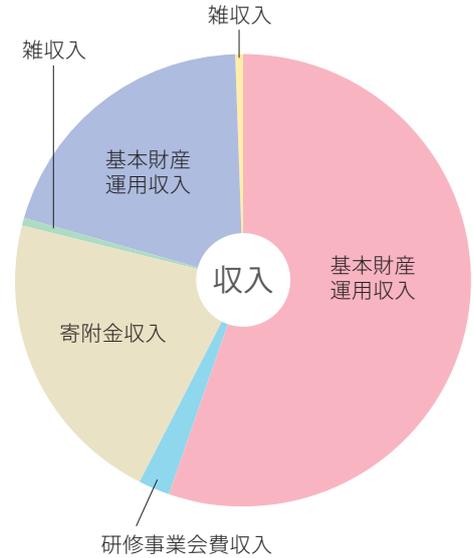
多くのご支援をありがとうございます

当財団は、皆様からのご支援・ご協力をいただきながら活動を続けています。
2019年度(1月～12月)の収支は以下の通りです。

財務会計報告(2019年度)

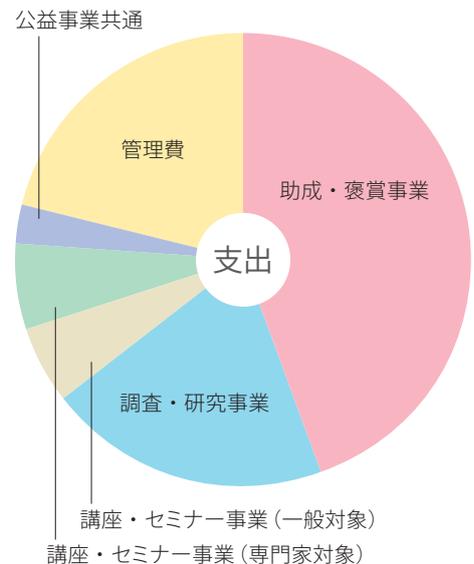
■収入

公益目的 事業会計	基本財産運用収入	44,602,620円
	研修事業会費収入	1,860,563円
	寄附金収入	17,100,050円
	雑収入	400,338円
	小計	63,963,571円
法人会計	基本財産運用収入	16,000,000円
	雑収入	308,985円
	小計	16,308,985円
合計		80,272,556円



■支出

公益目的 事業会計	事業費	助成・褒賞事業	39,496,979円
		調査・研究事業	17,801,864円
		講座・セミナー事業 (一般対象)	4,834,332円
		講座・セミナー事業 (専門家対象)	5,320,910円
		公益事業共通	2,639,787円
		小計	70,093,872円
法人会計	管理費	18,448,126円	
合計		88,541,998円	



収支差額△8,269,442円につきましては、前期までの繰越財産より賄っております。



ご寄附のお願い

当財団は、2011年9月1日の設立以来、着実に公益事業活動の幅を広げ、2015年7月1日には内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けました。今後もますます地域の皆様のお役に立つよう、まい進して参ります。つきましては、当財団の活動意義をご理解いただき、さらなるご支援をお寄せ下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、当財団への寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として税法上の優遇措置が受けられます。

ご寄附のお申し込み方法

寄附申込書に必要事項をご記入の上、ご郵送、もしくはFAX・E-mailにてご連絡下さい。

ご質問などの詳細事項は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

[お問い合わせ]

☎0562-45-2731 (受付時間 平日9:00～17:00)

FAX : 0562-45-2732

E-mail : info@sugi-zaidan.jp

[所在地]

〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1

お問い合わせの内容、お時間によっては、翌日以降のご回答となる場合がございますので、ご了承下さい。

詳しくはHPをご覧ください。

杉浦記念財団

検索

